

aiameguyuu さんの体験記第 17 話です。

5 月。自宅に帰り、僕の保育所通いが始まった。

母も 1 カ月ほど家事を手伝いについて帰ってくれている。

1 歳児のクラスに入る。慣らし保育はないとのことだが、私自身が
かわいそうで不安なので当分半日の保育にしよう。

一日目は何のことかわからず、私から離れて先生に抱っこしてもらって
別れる。

半日機嫌よく過ごすだろうか。泣いたりしないだろうか。

不安がよぎる。

心配しながら結局何も手に付かずに迎えに行く。

泣きもせず、元気に過ごしていたようだ。

安心した。

それから 2, 3 日。機嫌良く通うため先生が一日保育にしたらと
言われる。

一日保育にする。

給食もおやつもいただいて帰るため、とても時間がとれるようになった。

母と家事を済ませ、半日くらい寝る。

僕を迎えに行って晩御飯を食べる。

その生活がちょうど体にも負担がなく楽なようだった。

やはり保育所に入れたのは正解だった。

こんな形で保育所を利用できるなんて、あまり知られてないのではないかと思う。

僕は運動場にある大きな滑り台を気に入り、毎日帰りに遊んで帰る。

日中は保育所にあるたくさんのおもちゃで楽しく過ごしているようだ。

こうして私たちの新しい生活が始まった。

(続く)